

マルチステークホルダーとの共創で取り組む TCFD・TNFD×気候変動適応

気候変動の影響によって、かつて異常気象とされたような現象が常態化しています。また、事業者を取り巻く環境は、気候変動の緩和策と適応策のカップリングでの対応や、自然資本や生物多様性の保全などとの統合的なアプローチが求められ、サステナビリティ情報開示の検討も進められています。

第1部のセミナーでは自然資本・生物多様性の保全と気候変動適応の統合的なアプローチに取り組む先進事例を紹介し、事業者が気候変動適応に取り組む方向性について考えます。

第2部では、ボードゲームを通じて、気候変動適応を自分ゴトとして捉える方策を参加者の皆さんとともに考えます。

2025年 **2月19日(水)**
13:30～16:45 ハイブリッド開催

参加費無料・事前申込制（2/17まで）

※先着順。定員に達し次第、2/17締切前でも受付終了します。

【第1部】セミナー 13:30～15:05

TCFD・TNFD × 気候変動適応 最新動向

話題提供①

「地域共創による生物多様性保全」

西廣 淳氏 国立研究開発法人 国立環境研究所
気候変動適応センター 副センター長

自然資本や生物多様性保全の最新情報をお伝えするとともに、企業と自治体が共創して生物多様性保全に取り組む千葉県や群馬県の事例を紹介します。

話題提供②

「削減貢献量が世界を変える!？」

下野 隆二氏 パナソニックホールディングス株式会社
渉外室 環境渉外室長

パナソニックは、企業ソリューションを通じて世界の温室効果ガス排出量を削減する「削減貢献量」の標準化に取り組んでいます。本取組を通じて、従業員やサプライチェーンが気候変動緩和・適応を自分ゴト化していく可能性を紹介します。

質疑・ディスカッション

コーディネーター 畑中 直樹氏

大阪大学大学院工学研究科招聘教員（環境・エネルギー工学）

【会場】 グラングリーン大阪
JAM BASE CONFERENCE6-4

(〒530-0011 大阪市北区大深町6番38号)

【定員(現地参加)】※第2部は第1部参加者のみ受付

第1部 **40**名 第2部 **20**名

【オンライン】 Webexミーティング (予定)

※事前に、参加申込者へ参加用URLをお送りします。

※オンラインは第1部のみ（定員なし）

気候変動適応担当の方、社内研修ご担当者の方におすすめです。

【第2部】 人材育成研修体験会

15:15～16:45

気候変動適応を自分ゴト化して 社内・ステークホルダーへ 浸透させるには？

国立研究開発法人国立環境研究所気候変動適応センターが作成した「すぐろく - 気候変動適応への道 -」の体験を通じて、第1部セミナー内容を深く考えるきっかけとするとともに、社内やサプライチェーンへ気候変動適応を普及していく方策を考えます。

【お申込先】

申込みフォームからお申込ください。
(<https://questant.jp/q/kinki-tekiou20250219>) アクセスできない場合は kinki-tekiou@arpak.co.jp まで、件名を「気候変動適応セミナー参加希望」と明記の上、①氏名 ②所属・役職 ③メールアドレス ④電話番号 ⑤第1部・第2部への参加の有無をお送りください。



申込みフォーム

【主催】 環境省 近畿地方環境事務所

【事務局】 (株)地域計画建築研究所(アルパック)/担当: 江藤、藤田、中川

TEL: 080-9597-6196 (江藤携帯) E-mail: kinki-tekiou@arpak.co.jp